

特集3 地域づくりと地域リソース —COC 事業からのまなざし—

Community Development and Local Resource; From the Standpoint of “Center of Community” Project

本特集は、2014年度に開始された大学・地域の新たな連携事業である、京都大学COC（Center of Community）の一環として実施している授業「京都の地域リソース実践学」に関わるものである。同授業は、京都府文化政策課および京都府生涯学習拠点施設「あうる京北」（吉田均理事長）のバックアップと協力を得ながら、京北地域の住民の方々から（とともに）京北の地域リソースについて学び、その活用方法をともに検討し、実際に活用に向けて行動する中で、地域との関わり方を学ぶ、という趣旨のものである。

そこでは特に、地域住民の地域づくり活動と拠点文化施設に注目している。今年度はそのため、授業の企画・運営への示唆を得るために、他地域の参考事例として、沖縄県南風原町および南風原文化センター・沖縄戦関連諸施設、福井・金沢地域および福井県立恐竜博物館・金沢21世紀美術館に注目し、それらの実地調査を行った。

本特集は、以上のような2014年度（一部13年度のものを含む）の取り組み状況の報告で構成されるものである。COC事業自体は今後、5年間継続する予定であり、ゆえにまだ初発段階で、成果を報告するには至っていない。とはいえ、現時点で何に取り組んでおり、何が起きているのかを共有するツール（＝記録）として、また当事者である私たちが単純な振り返りを行う素材として、本特集を設けることとした。